

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	観光交流課
政策の柱	Ⅳ 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	取組の基本方向	「魅力ある観光と交流を創出する」ため、市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、特色ある地域資源を観光に生かすための「観光資源の活用促進」に重点的に取り組みます。
政策名	4 魅力ある観光と交流を創出する	政策目標	本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民自らが誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れてもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。

2. 政策を取り巻く環境と進捗状況

① 政策を取り巻く環境	国・県等の動向	国においては、平成18年の観光立国推進基本法の制定以降、観光立国推進基本計画の策定や観光庁の発足など、観光立国の推進に向けた観光地づくりなど様々な取り組みが進められている。 また、県においては、「とちぎ産業プラン」が平成22年度をもって終了するため、新たな観光振興計画を策定中である。さらに、平成21年度より県観光交流課、県内市町村、関東運輸局栃木運輸支局、県内観光協会、交通事業団体及び観光団体による「とちぎ観光ホスピタリティ推進会議」を設置し、おもてなし向上に向けた取り組みを実施している。	② 構成する施策に関する市民意識調査結果	<p>【凡例】 1. おもてなし ◆ 2. 観光資源活用 ▲</p>	③ 政策の進捗状況	政策指標 (単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	進捗状況 (%)
	外部意見その他	新たな観光資源の開発や、近隣市町と連携した広域による観光の振興とともに、事業者の接遇などおもてなしの向上が求められている。				指標① (総合計画に基づく指標)	来訪者に、自信を持って案内できる場所が市内にあると感じている市民の割合	20.2	18.5	19.8			34.0
					指標②	年間入込客数 (千人)	13,209	13,807	13,879			15,000	92.5%
					指標③								

3. 政策の評価

④ 現状と課題の分析	成果が見られる点	政策指標の進捗状況は、前年度より1.3ポイント上昇しており、各施策の状況についても、施策指標の達成度が一定の高い数値を示すなど、政策全体として着実に成果を上げている。	⑤ 今後の取組方針	総論	本市の交流人口の増加に向けて、観光資源を有効に活用した各種事業や来訪者へのおもてなしを着実に進めていく必要がある。そのため、新たな観光資源の発掘など併せて、近隣市町や民間企業との連携を強化、観光PRを強化するなど、より魅力的な観光都市の形成に向けて取り組む。
	改善の必要な点	「おもてなし」「観光資源活用」とも市民の重要度が低い状況にある。特に市民のおもてなし力を向上させることにより、市民自らが本市に愛着を持つとともに、本市のイメージ向上にもつながると考えることから、市民のおもてなし向上に向けた事業展開が必要である。		重点施策	年間入込客数は着実に増加しリピーターも多く、餃子をはじめとした観光資源を活かした取り組みにより、交流人口が増加するなど一定の成果をあげてきた。今後は、さらなる交流人口の増加を図り、魅力ある観光環境を形成するために、首都圏以外でも来訪が期待できる都市へ「首都圏キャンペーンやマスメディア活用事業」を拡充し、多くの宇都宮ファンを獲得する取り組みを充実させる。

4. 政策を構成する施策一覧

No.	施策名	施策の達成状況				進捗状況	施策の二次評価		市民の意識	
		施策の指標 (上段:総合計画に基づく指標) (下段:その他の指標)	H19:基準	H21	H24:目標		満足度	重要度		
1	おもてなしの向上	「来てよかった」、「また訪れたい」と感じている来訪者の割合 (%)	47.6	51.1	50.0	102.2%	総論	リピーター確保において、おもてなしは重要な要素のひとつであることから、市民や事業者が自主的におもてなし力を向上するための取り組みを展開していく。	23.1%	53.8%
							重点事業	「おもてなし推進委員会」が実施する事業内容(「宮のもの知り達人検定」「観光ボランティアガイド養成講座」「おもてなしモニター制度」など)の効果を見極めながら、内容の充実など、市民や事業者がおもてなしを醸成させる環境づくりを図る。また、市民のおもてなしの最前線を担う「うつのみやシティガイド協会」への支援を拡充させる。		
							見直し事業	「くちコミ特派員事業」において、OBの活用方法を検討するとともに、事業拡充に向けた新規特派員(宇都宮ファン)の増加を図る効果的な手法についても併せて検討する。		
2	観光資源の活用促進	年間入込客数 (千人)	13,209	13,879	15,000	92.5%	総論	各種観光事業においては、近隣市町との連携やイベント開催等の関係団体等への支援を充実させるとともに、本市の知名度向上のため積極的な観光宣伝を実施していく。	32.5%	53.0%
							重点事業	「首都圏キャンペーン参画事業」において、マスコミや旅行エージェンツへのキャラバン等による宣伝活動を強化するとともに、首都圏で開催されるイベントへの積極的な参画により誘客活動を推進していく。また、各種イベントにおいて、常に新しい魅力を創造するため、関係団体等と意見交換しながら内容の充実をさせていく。		
							見直し事業	「フェスタ in 大谷」において、さらに大谷観光の推進に寄与するため、イベントを核として日常的な大谷への誘客につながる内容の充実に向けて関係団体と意見交換しながら検討していく。		